

各 位

上場会社名 八千代工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 白石 基厚
 (コード番号 7298)
 問合せ先責任者 経理部長 北村 哲也
 (TEL 04-2955-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月27日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	330,000	9,100	8,370	4,800	199.89
今回発表予想(B)	306,000	6,100	5,630	500	20.82
増減額(B-A)	△24,000	△3,000	△2,740	△4,300	――
増減率(%)	△7.3	△33.0	△32.7	△89.6	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	319,765	8,799	8,124	7,360	306.51

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	225,000	2,600	2,200	850	35.40
今回発表予想(B)	209,000	550	200	△3,500	△145.75
増減額(B-A)	△16,000	△2,050	△2,000	△4,350	――
増減率(%)	△7.1	△78.8	△90.9	――	――
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	226,575	3,491	3,326	4,961	206.62

修正の理由

世界的な金融危機の深刻化に伴い、世界経済が急速に後退するなか、当社グループを取り巻く自動車業界におきましても、全世界の市場が急速に縮小しており、第4四半期以降大幅な減産が見込まれます。また、為替についても想定を上回る円高で推移しております。

このような状況の中で、第3四半期までは自動車組立分野において新型「ライフ」の受注台数が増加するなど、比較的順調に推移しましたが、第4四半期において主要顧客である本田技研工業株式会社等の生産計画が大幅な減産となることにより、主に国内の自動車部品分野及び自動車組立分野での大幅な受注の減少が見込まれるため減収減益となり、通期の売上高、利益とも前回予想を下回る見込みとなりました。

また、当期純利益につきましては、上記の理由に加え、第3四半期における減損処理による持分法適用関連会社の投資有価証券評価損7千万円及び持分法適用関連会社への貸付金に対する貸倒引当金繰入額23億9千8百万円を特別損失に計上したことなどにより、大幅な減益となっております。

これらにより、平成20年10月27日に公表した通期業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、為替レートにつきましては、第4四半期は1米ドル100円から85円、通期は1米ドル103円から100円に変更しております。

※ 業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であります。実際の業績は様々な要因の変化により、記載の業績予想とは大きく異なる結果となり得ますことをご承知おきください。

以 上